

平成29年度 八代高等学校シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年	2	類型	文系
単位数	3	教科書	精選現代文B（東京書籍）				
副教材	新国語便覧（第一学習社） 上級入試漢字（桐原書店）						

学習目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	評論1 「身銭」を切るコミュニケーション (内田 樹) 小説1 山月記(中島 敦) 詩歌 牡丹花は・プラタナス	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の要旨を的確に捉える。 ・コミュニケーションのあり方について考えを持つ。 ・小説の場面や登場人物についての的確に捉える。 ・小説の虚構性を通して、人間について考えを深める。 ・詩歌の表現の特色を理解し、自分の表現に役立てる。 ・それぞれの形式やリズムに注意し、描かれた世界を味わう。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	評論2 相手依存の自己規定 (鈴木孝雄) 評論3 情報社会のパートナーズ (清水克雄) 小説2 こころ(夏目漱石)	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の意図を的確に捉える。 ・言語と自我の構造の関係について考えを深める。 ・提示された問題について、自分の意見を表現する。 ・情報社会と人間の関係について考える。 ・登場人物・情景・心情などの描写を的確に捉えて味わう。 ・作者の人間理解を通して人生への関心を深め、自己形成に資する。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	評論4 消費されるスポーツ (多木浩二) 評論5 環境問題と科学 (村上陽一郎)	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された社会についての的確に理解する。 ・筆者の提起している問題について理解し、社会や人間についての考えを広げる。 ・筆者の述べる人間・社会・自然についての的確に理解する。 ・環境と科学の問題について様々な考え方があることを知る。 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	予習として意味の分からない語句や読めない漢字等を調べておく。学習後は、評論に取り上げられているテーマに関連のある記事を新聞等で調べる。小説では作者の別作品を読んでもみる。
評価方法	考査による評価7～8割、平常の学習活動による評価2～3割で総合的に評価し、最終的に100点法の評点とともに5段階で評価を行う。